



2019年2月14日

各 位

会社名 日機装株式会社
 代表者名 代表取締役社長 甲斐 敏彦
 (コード番号 6376 東証第1部)
 問合せ先 取締役副社長 中村 洋
 (TEL. 03-3443-3717)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2019年2月14日開催の取締役会において、2018年12月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおり決議しましたのでお知らせします。なお、当社は、取締役会決議により剰余金の配当等を行なうことができる旨を定款に定めております。

記

1. 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2018年11月13日公表) | 前期実績 (2017年12月期) |
|-----------|-------------|----------------------------|---------------------|
| 基準日 | 2018年12月31日 | 2018年12月31日 | 2017年12月31日 |
| 1株当たりの配当金 | 10円00銭 | 8円00銭 | 8円00銭 |
| 配当金の総額 | 711百万円 | — | 569百万円 |
| 効力発生日 | 2019年3月11日 | — | 2018年3月12日 |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

2. 理由

当社は、財務健全性、資本効率および株主還元の最適なバランスを追求しつつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現していくことを基本的な資本政策としています。継続的かつ安定的な利益還元は当社の資本政策の重要な柱であるとの基本認識のもと、業績、経営環境などを総合的に勘案した利益還元を行なっていくとともに、新規事業の育成、生産体制の強化に向け、内部留保を適正に再投資に振り向けます。

当期は、各事業の業績が概ね堅調に推移し、期初に公表しました連結業績予想を上回る結果となりました。営業利益100億円を安定的に維持できる目処が付き、また直近の財務状況等を総合的に勘案した結果、株主の皆様への利益還元を促進するため、当期の期末配当金を1株当たり8円から2円増配し、1株当たり10円とさせていただきます。すでに実施しました中間配当8円とあわせて当期の年間配当金は1株当たり18円となります。また、次期の年間配当予想については、1株当たり20円としています。

(参考) 当期(2018年12月期)の年間配当の内訳

| 基準日 | 1株当たり配当金(円) | | |
|-----------------|-------------|--------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 当期実績 | 8円00銭 | 10円00銭 | 18円00銭 |
| 前期実績(2017年12月期) | 8円00銭 | 8円00銭 | 16円00銭 |

以上